

平成26年度 事務事業評価シート

事務事業名		スポーツ推進委員				所管	教育委員会 青少年・スポーツ課		
事務事業の概要	行政計画	なし	事業NO.		計画事業名	事業の開始・終了年度			
	長期総合計画体系	[基本目標]					[事業開始] 昭和38年度		
		[小 柱]					[終了予定] - 年度		
		[施 策]							
	根拠法令等	法令(義務)	[法令等名]	スポーツ基本法					
	事業対象	直接の対象:スポーツ推進委員、最終的な対象:区民全体							
	事業目的	スポーツに関する指導、助言、事業の企画運営等を行うことにより、生涯スポーツの普及、推進を図る。							
	事業内容	体育の日の記念事業のほか、区の主催事業や各種研修会などに参加し、企画立案、協力、専門知識の取得を積極的に行なっている。							
委託の有無	一部委託	委託内容	体カテスト運営						
補助金の有無	なし								
事務事業の実績	種 別	指標の名称	(単位)	目標値 (27年度)	23年度	24年度	25年度		
	活動指標	スポーツ推進委員	(人)	32	32	31	30		
	成果指標	事業数	(件)	28	22	32	29		
	決算額 (単位:千円)					4,025	4,172	3,699	
	事務事業コスト (単位:千円)	人にかかるコスト(人件費など)				6,672	5,780	5,862	
		物にかかるコスト(物件費・維持補修費)				742	1,091	734	
		その他のコスト(扶助費・補助費など)				211	106	86	
		総経費				7,625	6,977	6,682	
	財源項目 (単位:千円)	受益者負担額(使用料・手数料・負担金など)				0	0	0	
		その他特定財源(国や都の支出金・財産収入など)				0	0	0	
一般財源(区負担額)				7,625	6,977	6,682			
前年度から改善した事項	委託事業である体カテストの運営を筆頭に、さまざまなイベントにおいて効率的に運営できるようになった。また、区民の方々に対してスポーツ推進委員の活動を広く周知するよう努めていた。								
評価の視点	評価	評価の理由							
	必要性	4	台東区内の「成人の週一回以上のスポーツ実施率を60%以上にする」というスポーツ振興基本計画目標を達成するために、スポーツ推進委員は必要不可欠である。						
	効率性	3	前年度の反省を生かし、より効率的に事業の運営をしていた。						
	手段の適切性	3	より区民にスポーツに親しんでもらえるよう、イベント等の周知方法の改善が必要である。						
目的達成度	4	スポーツ推進委員の自主事業のみならず、他団体が開催するスポーツ事業の運営等にも積極的に協力していた。							
[評価の理由](区民生活への影響を十分考慮すること)					評価結果	今後の方向性	拡大 改善 維持 縮小 廃止・終了		
身近に運動・スポーツの機会を作っていくためにも、スポーツ推進委員の活動を維持していくことは必要不可欠である。						維持			